

2010.12.6訪問



青年部員の 事業所に行きつた 聞いてきた 第二十八回 内田商会さん

今回訪問させていただいたのは、内田昌孝さんが勤務されている
内田商会さんです。



資源のリサイクルで 暮らしを支えます!!

内田商会さんは開業40年。昌孝さんが3代目になります。笠松町委託の資源とゴミの回収業者2社のうちの1社で、他に事業系ゴミなら笠松町外であっても回収できます。大体のものは廃棄可能なので、見積もり等相談してくださいとのこと



訪問してみても焼却場行きや埋立でないものは「ゴミ」と言わず、必ず「資源」と言っていたのが印象的でした。「資源」がどうやって回収され再利用に回っているか知らなかったため、考え方を改めるよい機会になりました。

(文・岩越智俊)

「モノのシフト」について教えてください

不用品引取りの見積もりに行くと「高いよ!」「そんなにするの!」と言われること。

仕事を通じて学んだこと

社長(父親)は偉いな、ということ。誰でも喜んでやる仕事ではないので、社員もいろいろな人を雇用してきてストレスもある。それをまとめて、きちんとした会社経営に切り替えてきた手腕はスゴイ。

思い出深い出来事を教えてください

「捨てたタンスの中に大事なものがあったハズだ!」というクレームがあったとき。みなさんも気をつけてモノを捨ててください。

聞いてなっとク ココだけの話

無料回収業者さんが増えています...

廃棄物処理業の認可がないので、代金をもらうことができず。家電などはリサイクル業者に持ち込み買ってもらい、不用品は中国に中古品または部品抜取用に輸出することで、今のところビジネスとして成り立っています。きちんと廃棄物処理されているか行政が指導できない点、住宅地であっても急に「ゴミの山」にしか見えないもの。古物商がお金を払って買い取れば有価物!が集積できてしまう点などが問題といわれています。

最終的に集めた「ゴミ・資源はどのように処分されるのですか?」

燃える大型ゴミは破砕してから、家庭系燃える「ゴミ」と同じように柳津の焼却場に持ち込みます。金物カシキはさらに分別して埋立てに向かいます。

それ以外は全て資源です。今ある十五種類の資源品毎に当社で回収し、さらに再分別・破砕などして、リサイクル業者に持ち込み、最終的に資源に再利用されています。

資源回収に一言!

分別不十分が約3割。不法投棄監視と資源・「ゴミ」の分別にご協力を!